

JAC組織図



(2025年9月現在)

運営委員会

協議会の全体方針、活動内容、ワーキンググループの設置、その他全体に関する事項の検討

メンバー会議

メンバー機関で構成され、本会の目的や運営委員会への付託事項及び同意委員会の決定事項に関する実務的な活動

WG(ワーキンググループ)

本会の目的を達成するための課題別に設置され、課題に該当するメンバー機関が中心となり具体的な検討を実施

TC1 WG

日本における試験所、校正機関、標準物質生産者、臨床検査室、検査機関、技能試験提供者、バイオバンクの認定及び適合性評価の適用や明確化のための基盤的な課題の検討

TC2 WG

日本におけるマネジメントシステム認証機関、製品認証機関、要員認証機関、妥当性確認・検証機関に対する認定及び適合性評価の適用や明確化のための、基盤的な課題の検討

戦略WG

日本における認定、適合性評価及び標準化活動の活用機会を広げるための施策を検討する場として、共通課題や戦略的活動について検討を実施

日本認定機関協議会メンバー連絡先



IAJapan

独立行政法人製品評価
技術基盤機構認定センター

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10



ISMS-AC

一般社団法人情報マネジメント
システム認定センター

〒106-0032 東京都港区
六本木一丁目9番9号六本木ファーストビル内



JAB

公益財団法人
日本適合性認定協会

〒108-0014 東京都港区
芝4丁目2-3 NMF芝ビル2階



JASaff

独立行政法人農林水産消費安全
技術センター認定センター

〒330-9731 埼玉県さいたま市中央区
新都心2-1さいたま新都心合同庁舎検査棟



VLAC

株式会社電磁環境試験所
認定センター

〒106-0041 東京都港区
麻布台2丁目3番5号ノアビル7階



JACへのお問い合わせ先



独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター (IAJapan) 内

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

✉ jac@nite.go.jp

☎ 03-3481-1948



<https://www.nite.go.jp/iajapan/jac/index.html>



日本認定機関協議会

Japan Accreditation Council

世界と信頼をつなぐ 国内認定機関の力をひとつに

活動内容

認定制度の共通事項、技術的諸問題の検討

国内における適合性評価制度の課題解決に向けて、JACではWG（ワーキンググループ）を設置しています。WGで検討された内容は、JACを通じて関係省庁、業界団体、適合性評価機関に共有され課題解決に役立てられています。



国内外の認定制度に関する情報収集・提供

関係省庁や業界団体、適合性評価機関との意見交換を通じて国内の動向や課題を把握するとともに、国際会議に参加し、海外の認定制度に関する情報を収集・提供しています。



認定制度の普及啓発活動

認定制度の普及を目的に、JACでは「世界認定推進の日（WAD）」に関連した広報活動や、毎年のWADテーマに沿った講義やセミナーの開催、HPでの情報発信などに取り組んでいます。



JACの目的

認定機関としての経験を広く共有し、我が国全体として、認定機関の信頼性向上と技術レベルの向上を図るとともに、認定制度の啓発・普及を行う関連から取り組むべき事業を行い、もって日本の適合性評価制度全体の向上に寄与すること

メンバー機関紹介



独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター（IAJapan）



一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC）



公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）



独立行政法人農林水産消費安全技術センター認定センター（JASaff）



株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）



適合性評価制度における 認定機関の役割

認定機関

試験所や製品認証機関などの適合性評価機関を審査し、認定する機関です。2025年9月現在、日本には5つの認定機関があります。

適合性評価機関

製品やサービスなどが基準に適合しているかを認証する機関です。試験・検査・校正などを通じて信頼性を確保します。

顧客・ユーザー

製品やサービスの信頼性を示すため、企業などが適合性評価を受けます。評価を受けた結果は、第三者証明として活用されます。